



体験を語る佐藤ハルエさん。息子や遺族会長も耳を傾けた

地元では、長くこの出来事は語られなかった。現地で亡くなった4人の女性を悼み、「黒川分村遺族会」が82年に「乙女の碑」の除幕式をしたが、説明書きはない。状況を变えたのは、2011年に戦後生まれで初の遺族会長になった藤井宏之さん(66)「白川町」だ。両親は帰国できたが、兄弟4人が現地で亡くなっている。性接待の歴史は薄々聞いており、「開拓団を救った恩人。口を閉ざしていいのかわ」と、従来の姿勢に疑問をもっていた。

たまたま、満蒙開拓平和記念館に語り部としてハルエさんや善子さんを紹介したところ、講演で女性接待の話が出た。この問題が公に話されたのは初めてで、この後、取材や講演の申し込みが相次ぐよ

「性接待」沈黙

だった佐藤ハルエさん(93)「黒川開拓団は1941年以降、600余人が吉林省陶賴昭に入植した。敗戦後、旧日本軍に置き去りにされ、現地住民らによる襲撃や略奪を受け、隣の開拓団は集団自決した。当事者の証言によると、黒川開拓団は幹部が近くの

逃げようとしたこともあったが、相手にスコップの柄を打たれた。当時のメモを書き写して数百の命を守る「など」とある。自分たちを差し出した大人が許せざ、帰国後、旧黒川村には2回しか行ってない。

ら一緒に死のうという意図も見も出た。だが、副団長が「団を守るのか、自滅するか。お前たちには、力があるんだ」と説得したという。最年長だった善子さんは自分を殺し、「お嫁に行けなくなったら一緒に人形の店を出して暮らそう」と仲間たちに言い、受け入れた。開拓団には医務室が設けられた。性病や妊娠を防ぐうと、薄めた消毒薬で、女性たちの体内を洗浄した。

した。最終的に約400人が戻った。鈴木さんは「帰ってこられたのは姉さんのお陰です」と話す。子どもができなかつた善子さんに次男を養子に出した。証言によると、接待を強いられた女性のうち4人が性病や発疹チフスなどにより現地で死亡。帰国後、長期入院する人もいたという。うわさが広がり、独身を通した人もおり、多くは村外へ出たという。

家族ら 証言支える



母・佐藤ハルエさんへの思いを涙ながらに話す息子の佐藤茂喜さん

うになった。宏之さんは最近、ハルエさんや善子さんらの息子らとの交流を深めている。最初は傷つけていないか気になったが、むしろ親たちへの感謝や誇りを口にされ、ほっとした。10日の集会には、ハルエさんの長男、佐藤茂喜さん(64)「郡上市」もマイクを握った。「母たちが集団自決していたら、僕はこんな世にいないんです」。涙を流

して母に感謝する茂喜さんに拍手が起きた。ハルエさんらの証言活動に協力するのは、終戦時10歳で、接待の女性のため風呂を沸かした安江菊美さん(83)「白川町」。ずっと胸にしまっていた。83年に月刊誌が場所や名前をぼかして取り上げた時は、燃やしたほどだ。だが、亡くなる直前の善子さんに語り継ぐよう託された。「もう時間がない」と、自身も講演する。

宏之さんたちは今、乙女の碑に説明書きを加えることを検討中だ。ただ、建立にかかわった前遺族会長の藤井恒さん(86)「同町」は「家族にも隠して」と話す。当事者に配慮しながらどう後世に伝えるか、模索が続いている。(見覚 編集委員・伊藤智章)

破る女性たち

開拓団守るため自分殺した



岐阜県の旧黒川村など(現・白川町)から戦中に旧満州(中国東北部)へ入植した満蒙開拓団の女性たちが、敗戦直後に開拓団の指示で旧ソ連兵に「性接待」をさせられたと告白し、衝撃を与えている。長く伏せられてきたが、「なかつたことにならぬ」と公の場で語るようになった。過酷な歴史の語り継ぎを支えるのは、女性の妹や息子たちだ。

旧ソ連軍部隊に治安維持を依頼。17・21歳の未婚女性15人前後を「接待」に出した。45年9月から11月ごろまで続き、一時期、中国兵の相手もさせたという。都内在住の女性(90)は当

当時21歳だった安江善子さん(2016年、91歳で死去)は13年、長野県阿智村の満蒙開拓平和記念館で講演した。録画によると、性接待を切り出された女性たちは泣き、団の年配者が

作業を手伝った鈴木ひさ子さん(89)「岐阜県中津川市」は当時16歳。差し出されそうになったが、実姉の善子さんが「その分も出るから」と交渉し、免れた。開拓団は46年9月、帰国



満蒙開拓 日本政府は1936年から、旧満州への開拓政策を進め、敗戦直前に旧ソ連が侵攻した際、国境地帯や鉄道沿線などに約27万人がいた。日本の関東軍主力は先に撤退しており、住民避難は難航した。敗戦後の政府の帰国支援も遅く、現地住民や旧ソ連兵による暴行、略奪を受けた。旧満州での民間人死者約18万人中、開拓団が約8万人を占める。

①開拓団での体験などを語る佐藤ハルエさん＝岐阜市、吉本美奈子撮影
②都内在住の女性が戦後に書き写した「性接待」当時のメモ
③慰霊碑の隣に建立された、説明のない「乙女の碑」＝岐阜県白川町、伊藤智章撮影